

意見提出者	個人
1. 項目	D P I 技術を用いた広告についての問題点
2. 既存の制度・規制等によって I C T 利活用が阻害されている事例・状況	<p>総務省の「利用者視点を踏まえた I C T サービスに係る諸問題に関する研究会」の提言で、通常のメールと同様に S N S サービスでの「ミニメール」の内容についても送信者に対しメールの内容確認のデフォルトをオンでもいいのではという内容が書かれている。D P I (ディープ・パケット・インスペクション) 技術を用いたターゲティング広告についても、現状でも基準等を整理すれば導入可能ではというような内容になっている。しかしながら、デフォルトがオンということは、そのことを意識せずにメール内容を漏らしてしまう送信者が少なくない数になると思われる。また D P I についても閲覧したページの内容を把握することができてしまうため、これも安易な導入は危険である。</p>
3. I C T 利活用を阻害する制度・規制等の根拠	—
4. I C T 利活用を阻害する制度・規制等の見直しの方向性についての提案	<p>ミニメール等についての内容確認はデフォルトオフとする。 D P I についても導入には検討と実験を重ね、導入した場合でもデフォルトは必ずオフとする。</p>